

五領域に基づく支援プログラム  
【児童発達支援】

放課後等デイサービス メイプル

～運営理念～

一人ひとりの個性を尊重する  
笑顔になれる居場所の提供  
子供の未来を考える

～ Maple の目指す療育～

五つのプログラム(五領域)体系を軸に、生きにくさを抱える子どもたちが  
将来自立した生活を営む上で必要な訓練を行います  
生活能力の向上、社会性の向上を促進するための場所を提供します

～営業時間～

平日(月曜日～金曜日) 9:30～17:00

土曜・祝日・長期休暇 9:30～16:30

～サービス提供時間～

児童発達支援	平日	9:30～12:30	*送迎サービス無
	土・祝日・長期休暇	9:30～16:30	*送迎サービス無
放課後等デイサービス	平日	13:30～17:00	*送迎サービス有
	土・祝日・長期休暇	9:30～16:30	*送迎サービス有

令和6年9月17日作成

## 【本人支援】

### ①健康・生活

★心身の健康状態の把握に努め成長を促します

- ・手洗い
- ・トイレトレーニング
- ・衣類の着脱
- ・食事のマナー
- ・身だしなみ

### ②運動・感覚

★遊びを通して全身の様々な感覚の成長を支援します

- ・リトミック
- ・感触・ふれあい遊び
- ・体操・ダンス
- ・ムーブメント

### ③人間関係・社会性

★大人に対して安心して関われる環境を作り愛着の形成を図ります

- ・親以外の大人(職員)や他児との関係づくり
- ・屋外遊びを通して社会のルールを学ぶ
- ・ごっこ遊び(協同遊び)

### ④言語・コミュニケーション

★発声や発語を引き出し、言葉を体系的に身に付けることができるよう支援します

- ・文字、絵カード、サイン等のコミュニケーション手段の選択・活用
- ・終わりの会で活動を振り返り、言語を受容し表出を促す

### ⑤認知・行動

★基本的な生活習慣を獲得していく中で概念(大きさ・色・時間・機能)の形成に繋がる支援を考えます

- ・イラスト、タイムスケジュール、タイマーの活用
- ・ブロック、スライム、粘土等の遊びを通して、視覚、聴覚、触覚の感覚を使い認知機能の発達を促す

## 【家族支援】

### ①面談の実施

### ②子育て上の課題の聞き取りと必要な助言

### ③情報の共有と定期的な支援調整

### 【地域支援】

- ①医療機関・保健所・子供家庭支援センター等の専門機関との連携
- ②教育機関の関係者との連携
- ③保育所等訪問支援の実施

### 【移行支援】

- ①教育機関の関係者等との情報共有を行う機会を設ける
- ②移行先との支援方針・内容の共有
- ③児童の情報や保護者の意向等について移行先への伝達
- ④利用日数や時間等の調整

### 【主な行事等】

- ①避難訓練  
施設内において地震を想定しての訓練、地域の避難場所への移動訓練 etc...
- ②季節に応じた様々な催し物  
節分、ひな祭り、夏祭り、川遊び、紅葉狩り、クリスマス会 etc...
- ③いろいろな体験会  
お買い物体験、外食体験、クッキング体験、プラネタリウム鑑賞 etc...

### 【職員の質の向上に資する取組】

- ①外部講師研修会  
保護者・職員を対象とし、外部講師を招いて講習会を行うようにする
- ②研修会への参加  
都や市で開催されている研修会へ、職員が一人年一回は参加するようにする

### ～ Maple 職員の取り組み～

私たちは常に目標を設定し、課題を明確にして、支援に取り組みます

検討を重ね、計画を立案し、計画を実行します

結果や成果を振り返り、支援力の向上を目指します